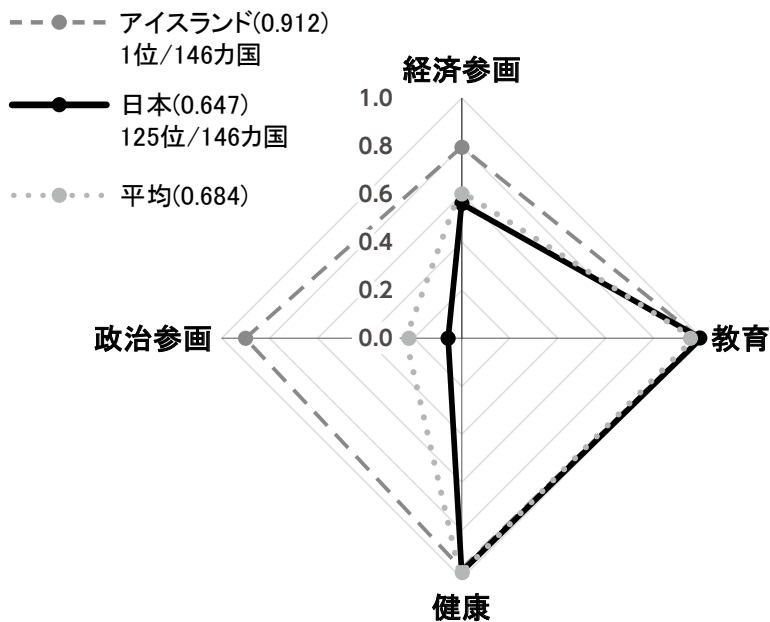


グローバル・ジェンダー・ギャップ指数 2023

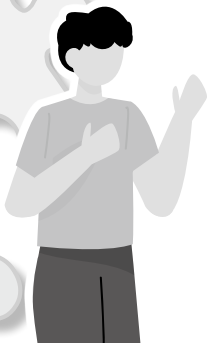


(世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(令和5年)」より作成)

吉川市のジェンダー平等は？

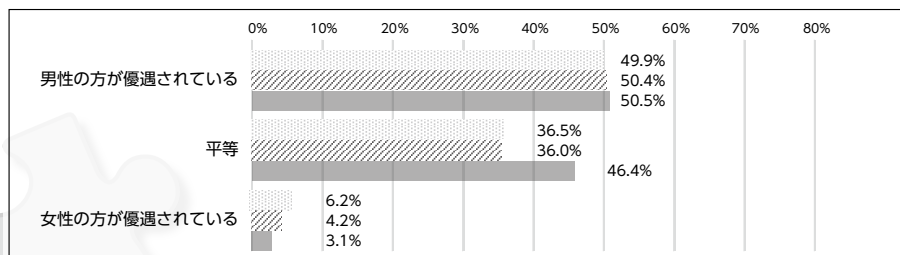
市では、国が「男女共同参画社会基本法」を制定する以前の平成7年に、男女がともにいきいきと豊かに暮らせるまちづくりを目指す行動計画「よしかわパートナーシップアクション22」を策定しました。そして、この計画を継承しながら、第4次吉川市男女共同参画基本計画(令和4年3月策定)まで改定を

重ね、現在に至っています。第4次計画では、「多様性を認め合い誰もが自分らしく生きることが出来るまち」を基本理念として、ジェンダー平等の視点に立ち、男女共同参画社会の実現を目指した取り組みを進めています。

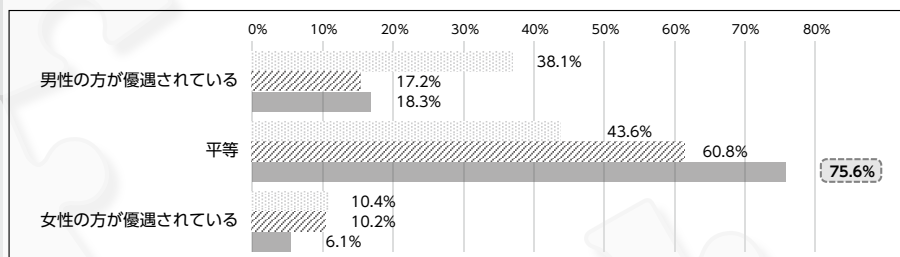


男女平等意識について(経年比較)

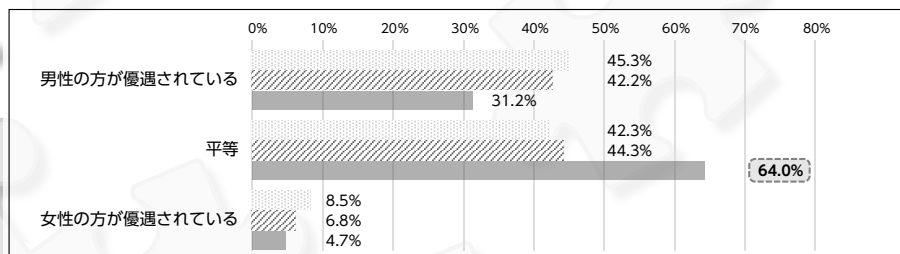
1 全体として



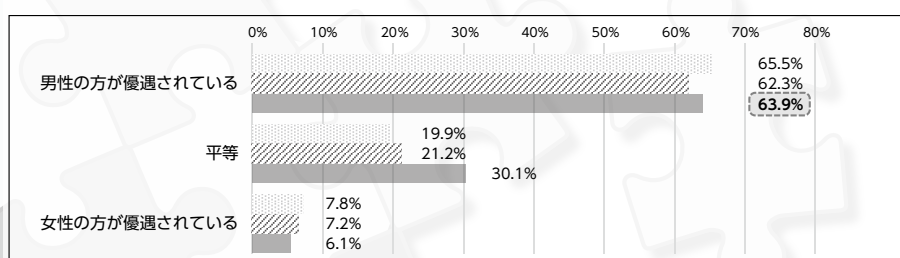
2 学校教育の場で



3 家庭の中で



4 社会通念や風潮で



(令和2年度吉川市男女共同参画市民意識調査より)

市の男女平等意識調査では、男女の平等感が高まっています。また、若い世代を中心に、ジェンダー平等の意識は変わりつつありますが、「社会通念や風潮」の項目で見られるように、依然として男性優位の割合が高い状況です。「男は仕事、女は家庭」という言葉に代表される固

定的な性別役割分担意識(※2)や、性別に関する固定観念は根強く残っています。そして近年、LGBTQといわれる性的少数者(※3)への理解も求められています。多様な性の在り方を理解し、互いを認め合うジェンダー平等の実現に向けた取り組みが必要となってきています。

※2 性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のこと。
 ※3 性的指向(恋愛感情がどの性別に向くか)や性自認(自分の性をどう認識しているか)に関してのありようが性的多数派と異なると思われる人。セクシャルマイノリティと同義。